

地下水バイパス 排水開始操作手順

平成26年7月17日

東京電力株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所



東京電力

排水開始操作手順

- ①排水予定の一時貯留タンクGrの水質分析結果が排水基準を満たしていることを確認
- ②モード操作「分析完了」であることを確認
- ③各弁の開閉状態を確認
- ④排水予定の一時貯留タンクの水位を確認
- ⑤放水許可キースイッチにキーを挿入し、「非許可」から「許可」へ切り替え実施
- ⑥モード操作「放水」を選択
- ⑦放水ライン入口弁「開」、放水ポンプ「起動」、放水ライン止め弁「開」を確認

誤操作防止対応

- ①当直長の管理下の元、運転員が免震棟で排水操作を実施する
- ②排水操作は、免震棟と現場盤で操作可能となっているが、操作画面優先切替キースイッチが、免震棟盤並びに現場盤で同一の操作場所になっていなければ操作ができない
- ③通常排水操作は、免震棟で排水操作を実施するため操作画面優先切替スイッチを免震棟並びに現場盤共に「免震棟」側としている
免震棟で操作可能な場合は「免震棟 操作可」ランプが点灯する
- ④放水許可キースイッチのキーについては、当直長保管としている

【参考】水質確認後の地下水の排水手順について（1）

地下水受入後の排水操作は下記の通り

- ・ 「循環」モード ① を選択、循環運転により攪拌実施
- ・ 所定量の地下水サンプリングを実施
- ・ 「分析完了」モード ② を選択

※操作画面優先切替スイッチが免震棟並びに現場盤が

「免震棟」側 ※ になっていなければ以下の操作ができない

（免震棟 操作可ランプ点灯）（※）

- ・ 放水許可キーロック③を「許可」選択
- ・ 「放水」モード④選択

→ 「分析完了」モードが選択されないと、放水が許可されないインターロックとなっている
さらに、キーロックで「許可」を選択することによって「放水」モードが選択可能となるブルアクション構造となっており、**ヒューマンエラーによる誤放出防止措置**がとられている。



【参考】水質確認後の地下水の排水手順について (2)

<「放水」モード選択>

- ・ 放水ライン入口弁 (⑤) 「全開」
- ・ 放水ポンプ (⑧) 「起動」
- ・ 放水ライン止め弁 (⑥) 「全開」

